

# ほたる



2007年 1月冬号 No.15

発行:わたなべ美穂後援会

〒818-0125

太宰府市五条 2-2-25-601

Tel & Fax : 092-923-3051

ホームページ

<http://www.watanabemiho.com/>

## 新年あけましておめでとうございます。

早いもので、今年は私の4年間の活動に対し皆様の審判を頂く選挙の年です。これまでの活動を振り返ると、最初は幅広い行政の業務内容について、まずは用語から勉強しなければなりませんでした。この4年間で特に福祉と教育については自分なりに調査研究を行い、活動をしてきたつもりですが、他の分野についてまだまだ足りません。しかし、公約どおり今後も福祉と教育の充実を活動の中心に置きたいと思っておりますので、今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。



公職選挙法上議員の印刷物による年賀状送付は禁止ですので、本会報で変えさせていただきます。

- わたなべ美穂

## 後援会長より新年のご挨拶



明けましておめでとうございます。皆様には健やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。「わたなべ美穂」市議会議員、一期4年が終わり、今年は改選です。我々の代表として2期目に出馬されることを後援会から要請、議員がこれを受託し強い決意表明をしました。(統一地方選挙日程: 県知事・県議会議員 4月8日、市長・市議会議員 4月22日) 太宰府市の財政難、教育・福祉施策の不備など様々な問題についてこの4年間、わたなべ議員は定例議会でも毎回質問を繰り返し、執行部を正してきました。

今年は亥の年です。これまでの実績を踏まえ2期目も“猪突猛進”突き進んでゆけるように、後援会会員、支持者の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げますと共に、皆様方のご健勝と繁栄を念じ、新春のご挨拶といたします。

- わたなべ美穂後援会会長 大藪 善治 -

## わたなべ美穂を囲む「新春の集い」のご案内

主催わたなべ美穂後援会

～ 貴方の思いをわたなべ美穂に直接話してみませんか? ～

日時: 平成18年1月27日(土) 午前11時～1時

場所: 西鉄五条駅横「いきいき情報センター」多目的ホール

内容: わたなべ美穂議会報告及び懇親会

会費: 500円(ご好評の豚汁等軽食を用意いたします)

食事の準備の都合上、出席ご希望の方は1月25日までに事務局長平島正 924-4020 又は渡辺四郎 922-3922 までご連絡ください。どなたでもお気軽にご参加ください!!お待ちしております。

## 12月議会報告

12月議会は、15名が一般質問をしました。わたなべ美穂は「教育格差について」質問をしました。法律改正によってこれから市町村で学校の教職員を採用することが出来るようになりました。お隣の筑紫野市では非常勤講師を7名、志免町では22名も雇っています。太宰府市は、財政難を理由に子どもたちの教育環境について十分な配慮を行っているとは言い難い状況です。今後このような自治体間における教育格差が生まれてくることが懸念されます。

### 学校図書館が昼休みしか利用できない！

これは、ある中学生からの声でした。太宰府市では15年度から図書司書と学校事務補助が兼任になり、昼休み以外司書の方が図書館に行くことが難しくなっています。その昼休みの開館も、司書の方がご自分の昼食時間を削っていらっしゃる現場もあります。子どもの活字離れが指摘され、学校は読書の時間や図書委員の活用、地域の協力を得て読み聞かせをするなど努力をされていますが、子どもが主体的に本に接することが出来る時間が30分程度しかない、というのは今教育に求められている流れに逆行するものではないでしょうか？

<わたなべ美穂の質問の主な内容>

- (1) 図書司書が常駐していたときの勤務体系を見直すことで、予算を若干減額しながら、学校が必要とする時間帯に専任司書を配置することが出来るが、その考えはあるか？
- (2) 中学校において、特に放課後の図書館利用を要望する声がある。地域のボランティアなどの活用により、実現できる可能性を探ってみてはいかがか？

<執行部の主な回答>

- (質問の回答) 本年度から採用している施策別枠配分方式の予算決定により、教育の充実について、教育委員会でどのように予算を使うかは裁量してもらおう。
- (質問の回答) 検討してみる。

### 中央公民館で学校の合唱大会も行えない！

市では地方自治法の改正によって指定管理者制度を導入しました。これは公の施設を市が直営もしくは民間に運営を任せることが出来る制度です。これに伴って市ではこれまで1部団体などに適用していた公共施設利用料の減免(割引) 無料での使用を原則全廃しました。多くの市民の方が使用料の値上げを実感されていると思います。この考えに基づき、学校がこれまで行ってきた合唱大会も、学校が中央公民館の使用料を支払うことが出来なければ、使用させないことになりました。この予算額はリハーサル分も含め1校あたり約30万円です。

<わたなべ美穂の質問の主な内容>

これは、制度改革によって使用料が発生しただけであり、学校はずっと継続してきた事業である。今回中央公民館の管理業務について随意契約から入札制度に変更したことによって同じ業者でありながら500万円以上も安くなっている。この予算を学校の合唱大会に充てることはできないのか？

< 執行部の主な回答 >

学校へはそれぞれ予算を配分している。その予算について学校が何に使うのかは、学校裁量である為、必要に応じて学校側が決定すべきことである。

## 耐震化出来ていない学校は安全と言えるのか？

平成 7 年阪神淡路大震災を教訓に、政府は各自治体に対し、公共施設について耐震診断と診断結果に基づく耐震化の努力義務を課しました。あれから 10 年経ちますが、太宰府市の学校の耐震診断は 56%、耐震化工事に至っては 7% しか終わっていません。前原市は、耐震診断は 100%、耐震化工事も 82% 終了しています。しかも太宰府市は平成 15 年度から学校の耐震化を含む大規模改修工事を凍結したままです。法律によって築 20 年を越す校舎について、子どもの安全を守る為にも改修工事を行うことが義務付けられています。

< わたなべ美穂の質問の主な内容 >

これまで 4 年間、耐震化を含む大規模改修工事を行ってこなかった為、仮に 19 年度から再開したとしても、今後 7 年間の間に 50 億円以上の予算が必要になることが試算されている。19 年度以降も行わなかった場合、校舎の老朽化は進み、子どもたちの安全が更に脅かされる。緊急性の低い公共工事を一次凍結し、その予算を割り当てていくことは出来ないか？

< 執行部の主な回答 >

太宰府市の財政は、これまでの見通しで行くと平成 22 年ごろから好転してくる。現在の財政状況での 50 億円以上の支出はかなり困難であるが、財政が好転してくれば、学校の大規模改修にも対応できると考えている。

## わたなべ美穂の受けた印象

市役所は、市民一人一人の人権を守ることがその最大の責務です。

しかし予算が限られている為、優先順位をつけていかなければなりません。市民が快適に過ごせる街づくりももちろん大切ですが、まずは生命を脅かす可能性の高いものから排除していく、そんな優先順位のつけ方ができないものかと思います。

いじめや虐待によって命を失う子どもが増えている今、校舎だけではなく、子どもの命を守ることが急務であると私は考えます。教育はすぐに結論の出るものではありません。しかし、子どもの状態を的確に見抜き、その個性を発見し向上させる為に、教師が子ども一人一人に充分に配慮できる環境が必要です。また子どもの思いやりを含めた想像力を育成できる環境作りが、自治体に出来る子どもの命を守る方法ではないでしょうか。学校はその為に読書や運動を奨励し、クラスの間人間関係を構築する合唱大会を行ってこられたと思います。事務事業をできるだけ削減し、施策の予算額を決定する場合がありますが、こと命や子どもの将来に関わることについては、まず何が必要かを洗い出し、市役所が一丸となってそれに高い優先順位をつけて予算を配分する事が大切だと思います。



# わたなべ美穂 10月活動報告

10月3日～5日	総務文教常任委員会視察
10月11日	太宰府病院「ちょっとよってん祭」見学
10月12日	市民との面談 青少年育成市民の会会議
10月14日	市民政庁祭り
10月16日	安全運動大会
10月18日	市民ネットワーク会議
10月19日	市民との面談
10月20日	教育基本法勉強会
10月21日	憲法を考える会講演会
10月22日	御笠川清掃活動
10月23日	女性議員ネットワーク勉強会 労働センター定期大会
10月25日～27日	会派視察
10月29日	後援会ペタンク大会 市民ネットワーク交流会
10月30日	市民との面談
10月31日	福退連総会



総務文教常任委員会視察 千歳市  
小・中一環障害児学級の調査



会派視察 長浜市 松本市  
「まちづくりと景観条例について」



後援会ペタンク大会  
「楽しく健康づくり」



福岡公共市民ゼミナールにパネリストとして参加  
テーマ「議員定数と議員報酬」

